

みんぱくワールドシネマ

映像に描かれる〈出会いと創造〉



パレードへようこそ

© PATHE PRODUCTIONS LIMITED, BRITISH BROADCASTING CORPORATION AND THE BRITISH FILM INSTITUTE 2014. ALL RIGHTS RESERVED.

第35回上映会

2016年 **12月4日** [日] 13:30~16:30 (開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂 **要展示観覧券(一般 420円)**

定員 450名 入場整理券を11:00から本館2階 観覧券売場にて配布します。事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

PRIDE

2014年/イギリス映画/121分/英語/日本語字幕付き

監督/マシュー・ウォーチャス

主演/ビル・ナイ イメルダ・スタウトン ドミニク・ウェスト

司会 松尾瑞穂 (国立民族学博物館 先端人類科学研究部・准教授)

解説 吉田俊実 (東京工科大学 教養学環・教授)

お問い合わせ 国立民族学博物館 企画課博物館事業係 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
TEL.06-6878-8210 (土日祝を除く9:00~17:00) <http://www.minpaku.ac.jp/>



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

みんなくワールドシネマ

映像に描かれる〈出会いと創造〉

国立民族学博物館では2009年度から、研究者による解説付きの上映会「みんなくワールドシネマ」を実施しています。8年目の今期は〈出会いと創造〉をキーワードに映画上映を展開していきます。今回は1984年サッチャー政権下のイギリスを舞台に、ストライキを取行する炭坑労働者と、彼らを支援するゲイグループが、理解あい結末するまでを描いたイギリス映画「パレードへようこそ」です。異なった環境や立場にいる人びとが、偏見や差異をどのように乗り越え、交流することが出来るかを考えたいと思います。

第35回上映会

2016年12月4日(日) 13:30～16:30 (開場13:00)

場所 国立民族学博物館 講堂 **要展示観覧券(一般 420円)**

定員 450名 入場整理券を11:00から本館2階 観覧券売場にて配布します。事前申込は不要です。

主催 国立民族学博物館

パレードへようこそ PRIDE

2014年/イギリス映画/121分/英語/日本語字幕付き

監督/マシュー・ウォーチャス

主演/ビル・ナイ イメルダ・スタウトン ドミニク・ウェスト

司会 松尾瑞穂 (国立民族学博物館 先端人類科学研究部・准教授)

解説 吉田俊実 (東京工科大学 教養学環・教授)

映画解説

炭坑が次々と閉鎖に追いやられていた80年代のイギリスで、ウェールズの小さな炭坑町の人びとと、ロンドンの同性愛者たちが手を携え、ともに逆境に立ち向かった実話を、温かなユーモアで包み込み映画化。不況にあえぐサッチャー政権下の84年、リーダーシップに秀でたゲイの青年は、泥沼のストライキを続ける炭坑労働者に、社会から疎外された身として共感を覚え、「LGSM(炭坑夫支援レズ&ゲイ会)」を発足し、寄付金集めに奔走する。エイズの蔓延などが、同性愛者への理不尽な差別や偏見を助長する中、片田舎のディライス炭坑では、大らかな人柄の代表者を中心に、理解の輪が徐々に広まり、両者は揺るぎない親愛を育んでいく。演劇畑出身のマシュー・ウォーチャス監督は、家族にすらカミングアウトできずにいる青年、信心深い母と長く絶縁状態の息子、自身に潜む能力に目覚める主婦ら、刺激に満ちた交流を重ねて前進する人びとを、細やかに活写。名優から新人まで、多彩な演技陣を見事に束ね、実在の人物に新たに息を吹き込む。ユニークな個々を尊重し合い、行動へと踏み出す勇気が、希望の光を照らすことを清々しく謳い上げ、ゴールデングローブ賞ノミネートを果たす佳作となった。(映画評論家 服部香穂里)

二つの歌が交差するとき

1984年、サッチャー政権下のロンドンでは、赤字炭坑閉鎖に抗議して炭坑労働者たちがストライキを起こしていた。その様子が、連日、報道されている。ストライキを巡って警官ともみ合いになる。逮捕者が出る。ゲイのマークは「政府や警官たちにいじめられているのは自分たちと同じだ」と感じ、炭坑労働者たちを支援しようと仲間を持ちかける。

この映画には、印象的な二つの歌が登場する。ひとつは、トム・ロビンソン・バンドが1977年に出した「2-4-6-8モーターウェイ」であり、バンドを率いるトム・ロビンソンはゲイであることを公表して活動したパンク・ロッカーである。もうひとつは、「パンと薔薇」。20世紀初頭にアメリカ・マサチューセッツ州の繊維工場で起こったストライキのさいにスローガンとして使われた詩が歌われたものである。

人びとの思いが二つの歌に託されている。そして、ロンドンの性的マイノリティと南ウェールズの炭坑労働者という、ほとんど接点のない人びとのあいだに不思議な交流が生まれ、お互いを理解しようとする努力や共感が広がっていく。この映画が実話に基づくとき、私たちはこの映画の放つ希望の光に触れたような気がするのだ。(吉田俊実)



© PATHE PRODUCTIONS LIMITED, BRITISH BROADCASTING CORPORATION AND THE BRITISH FILM INSTITUTE 2014. ALL RIGHTS RESERVED.

映像に描かれる〈出会いと創造〉

国立民族学博物館・准教授 鈴木 紀

グローバル化にもともなう人と情報の地球規模の移動により、世界では移民や異なる文化をもった人びととの遭遇・接触・摩擦が増加しています。その結果、移民の排斥や狭小なナショナリズムの高揚など、異なる文化を持つ人に背を向ける傾向が一部に見られるようになってきました。これは異文化理解にもとづき人間の文化的多様性を探求する民族学/文化人類学にとって看過できない事態です。異質な他者との遭遇を、潜在的な脅威として否定的にとらえるのではなく、新たな文化の創造の機会として肯定的にとらえる「共創」の態度の涵養が重要でしょう。「出会いと創造」というテーマは、このような今日的課題に対する国立民族学博物館からのメッセージです。

ご利用案内

- 開館時間 10:00～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌日が休館)
- 観覧料 一般 420円/高校・大学生 250円/小中学生 110円
*観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

交通のご案内

- 大阪モノレール..... 「万博記念公園駅」徒歩約15分
*自然文化園窓口で当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
「公園東口駅」徒歩約15分
*自然文化園(有料区域)を通過せずに来館できます。
- バス..... 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「万博記念公園駅(エキスポシティ前)」・「日本庭園前」下車徒歩13分
- 乗用車..... 万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分
*「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。



[大阪・万博記念公園]
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号
国立民族学博物館 企画課博物館事業係
Tel:06-6878-8210 Fax:06-6878-8242
www.minpaku.ac.jp/

次回作品 2017年2月11日(土・祝)

幸せのありがた

Chce się żyć

2013年/ポーランド映画
ポーランド語/107分
日本語字幕付き

監督/脚本/
マチエイ・ビェジツァ
出演/ダヴィド・オグロドニク
カミルト・カチ



© Trnway Sp.z o.o. Instytucja Filmowa "SilesiaFilm", TVPSA, Monthernia, PL 2013



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology